

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 079	提案機関名 畜産技術センター
<b>要望問題名</b> 地域未利用資源の「かながわ鶏」への飼料化利用の検討について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 経営として、かながわ鶏の飼養を継続するためには、生産コストの低減は重要なこと。 そこで、本県の特産品等から発生する未利用資源で安価に入手が可能なものについて飼料化を検討し、鶏の発育状況および肉質について調査する。 考えられる特産品等から発生する未利用資源は、 ○米（奨励品種のキヌヒカリ、はるみ）→ クズ米、酒米クズ、ぬかとしての利用 ○その他、足柄茶、だいこん、マグロなど	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	畜産技術センター	<b>担当部所</b>	企画研究課
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 地域資源を活用した鶏卵・鶏肉の生産方法の検討 (H28～30)			
<b>対応の内容等</b> かながわ鶏に対する未利用資源の飼料化については平成28年度から検討しており、製パン工場から排出される残さの発酵乾燥処理飼料、清酒製造過程で排出される米ぬかを供試しています。 今後も検討を継続する予定なので、利用可能な資源について引き続き情報提供をお願いします。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			